



最新マンスリーecoニュース&トピックス

・最近のニュース

環境省「家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査 全国試験調査」を実施へ2014.09.30/環境省

環境省は、家庭からの二酸化炭素排出量の推計に係る実態調査試験調査を実施すると発表。「2012年度の温室効果ガス排出量(確定値)」「平成26年4月15日環境省発表)では、家庭部門のCO2排出量は増加傾向が続いており、2012(平成24)年度は2億300万tで、1990(平成2)年度比で59.7%も増加している。この背景としては、世帯数が増加傾向にあることや、家電製品の大型化・多様化などの要因が考えられ、より実態に即した効果的な削減対策を行うことが喫緊の課題となっている。

環境法改正情報

■埼玉県生活環境保全条例施行規則の一部を改正2014.08.15

「土壌汚染対策法」では、有害物質を取り扱っていた工場を廃止する場合や、工場跡地などで土壌汚染のおそれが高く人の健康へ被害を及ぼすおそれのある場合などには、土地の所有者がその汚染の状況を調査することなどが義務付けられており、改正の施行に伴い、1,1-ジクロロエチレンの土壌汚染基準の規制値を「土壌汚染対策法施行規則」と同等に緩和するため、「埼玉県生活環境保全条例施行規則」の一部を改正することとした。

Ecobiz/ecolife エコBiz/エコライフ

エコエイトのサービスマニュー②

産業廃棄物のリサイクルについて (3)

こんなゴミをリサイクルすることができます！

■ビン・ガラス類

飲料や医療関係まで幅広く、私たちの日常に溶け込んでいるのがガラス製品です。回収されたガラス製品は色ごとに分別され、ガラスとしてのリサイクルはもちろん、細かく砕いて路面材、緑化・断熱、園芸、浄化、建築、土木に活用されます。



■家電

粗大ゴミや什器回収などで集められた家電などは、家電リサイクルセンターに集められ、家電リサイクル法に基づいて処理されています。



罰則と判例

業者が改善計画説明 西予産廃施設ダイオキシン問題

2014.09.11/愛媛新聞
愛媛県西予市の産業廃棄物焼却施設から基準を超えるダイオキシン類が検出された問題で、稼働準備を進める廃棄物処理業者は、市内で住民説明会を開き、8月に県に提出した改善計画書の概要を提示した。検出の原因について高田社長は「管理に不慣れで理解が不十分な状態で運転した」と説明した。

営業に役立つ環境用語と豆知識

【1,1-ジクロロエチレン】

可燃性の極めて高い、無色で不快臭の液体である。水には溶けないが、エタノール、ジエチルエーテル、アセトン、ベンゼン、クロロホルムには溶解する。

走れ!エコエイトマン

Try for tomorrow
「明日の地球のために、今できること」

2014年度 世田谷区の河川敷周辺を
を一齐清掃する「多摩川クリーン作戦」に参加

